

再会にはじける笑顔

1月12日、抜けるような青空の下、川越運動公園総合体育館で成人式が行われました。今年には3,613人が大人の仲間入り。

会場では、新成人たちが同級生との再会を満面の笑みで喜び合っていました。式典では、瀬尾早悠理さん(的場2丁目)と竹本隼人さん(古谷上)が「新成人誓いの言葉」を述べました。

成人式実行委員を務めた奈良地歩斗さん(幸町)は「活躍の場を限定しない国際人になりたい」と将来の夢を話してくれました。



川柳

握る手の温みに記憶 蘇る
 出合いから歳を忘れて 毬になる
 とんとんと事が運んで 拍子抜け
 忘却の扉を開けた 里の風
 老いて未だ 脳細胞の口達者

福田案山子(豊田町一丁目)
 斉藤貞子(上野田町)
 中林和子(野田町一丁目)
 時枝利幸(今福)
 堤まさ(菅原町)

俳句

湯にひとり肩より上は 星月夜
 衣被きぬなかなか抜けぬ 国訛り
 白糸を買いに出ただけ 秋日傘
 故もなく 日記遺書めく 夜長かな
 草の絮わたつれて 乗り込む 小海線

鈴木敏生(山田)
 小林幸二(菅原町)
 北村しずえ(新宿町四丁目)
 高橋芦人(岸町一丁目)
 渡辺秀雄(小仙波町三丁目)

短歌

旗を持つ人先立てて 若からぬ人らのどかに 蔵の街ゆく
 佐藤淳子(小ヶ谷)
 道幅の広くなりたる 大通りレトロな帽子屋姿を消しぬ
 岡田貴美子(菅原町)
 とりどりの葉を一家三人が 食後の卓に 並べて居りぬ
 田中操(仙波町一丁目)
 型よく帯締め終へて パンとたたき いつもながらの 我を保てり
 小峯綾子(南台二丁目)
 昨夜研ぎし 包丁の切れ心地よく 朝の厨くに 大根刻む
 宮崎美与子(元町一丁目)

短歌・俳句・川柳

平成26年度市民文化祭入選作品

文化芸術振興課 224-6157